



きりん組5歳児

# きりんだより No.6

田島わくわく保育園 平成30年9月27日 小倉・山本



虫の鳴き声がセミからコオロギ・スズムシへと変わり、すっかり秋らしくなりました。朝や夕方は随分涼しくなり、“半袖では寒いかも…?”と思っても日中は気温が上がり、汗を光らせながら園庭を駆け回っている子どもたちです。園庭にも色々な虫が顔を覗かせるようになり、きりん組さんは虫かごを持ってバッタやカマキリを捕まえることに夢中になっています。大きな虫を触ることが苦手な子も多いですが、どうしても捕まえたいという思いは強く、虫かごを大きなカマキリにかぶせて捕まえることができ、みんなで喜んでいる姿も見られました。触ることはできないけど、でも捕まえたい…という思いから色々試行錯誤してチャレンジしている子どもたちの姿が微笑ましいです。捕まえたカマキリやバッタを子どもたちが「お部屋で飼おう！」と提案し草を入れ、飼うことにしたのですが翌日登園すると死んでしまっていました、、お墓を作り、「ごめんね。」と手を合わせていた子どもたち、虫を飼う難しさに直面し、どうするか話し合いが始まりました。「捕まえて観察したいけど、でも、死んじゃうのはかわいそう…」「じゃあ、観察が終わったら、放してあげようよ！」と意見がまとまり、凶鑑を持ち歩きながら、また虫探しに夢中になって楽しんでいきます。秋の自然に触れながら、色々な学びを子どもたち自身で感じとっています。

## 運動会に向けて頑張っています！！



いよいよ来週は保育園生活最後の運動会、今まで憧れを抱いてきた鼓隊や組体操に日々やる気を高めて取り組んでいます。太鼓を担いでずっしりと重みを感じても、誰も弱音を吐かず、「頑張ろう！」と友だちと励ましあったり、「こうするんだよ。」と優しく教え合ったり…、子どもたちのたくましい姿が沢山見られるようになりました。「もう1回やりたい！」と担任にリクエストすることも多く、回数を重ねる毎に友だちと心をひとつにして音を合わせ演奏する楽しさ、組体操で技をきれいに決める喜びを感じているようです。

そして、赤組白組対抗リレーにも毎回熱が入っている子どもたち。走る順番をチームで相談し合って決めています。「1番走りたい人～?」「アンカーになりたい人～?」等呼び掛け、じゃんけんで決めることが多いのですが、中には希望通りにならなくて泣き出してしまいう子もいます。そんな友だちの思いにも寄り添い、「〇番がよかったんだよね?じゃあ、次は〇〇ちゃんにして、みんなで順番にしようよ。」と一人ひとりが納得して参加できるようにチームに呼びかける姿もありました。

## おねがい

10月よりお弁当包みを使用していきたいと思えます。巾着タイプのもではなく、大判のハンカチ等にお弁当を包んで下さい。

ご家庭でもお子さんと一緒に練習をお願いします。指先を使って結ぶという経験を積み重ね、就学に向けて取り組んでいきます。ご協力よろしく  
お願い致します。

